

2013年1月 コラム



おかだ ひと

2013/1/1(火)

新年明けましておめでとうございます。いよいよ平成二十五年が始まった。私にとって、今年
は忙しい年になりそうだ。予定がいろいろと入ってきている。私の今年の目標はそれらの目標を
うまくこなし、実りのある年を迎えることだ。もちろん体と心の健康も大事である。体調を崩す
ことなく、健康でなければこの一年を乗り切って、予定をこなしていくことはできないだろう。
皆さんにとってもそうではないだろうか。まず、自分や周りの人たちの健康と無事、幸せを祈る
だろう。そして、よりよい一年を迎えたいものである。新年の誓いは人それぞれであるが、新年
最初の誓いは守り通したいものであろう。しかし、一年の終わりになると、最初にたてた目標を
達成できたかという、なかなかそういう人たちは少ないのではないだろうか。「今年こそ」と
いう気持ちをいつも忘れたくないものである。新しい年を迎え、気持ちを引き締めて、この一年
を過ごしていこうではないか。

2013/1/2(水)

二〇一二年も終わった。去年はあっという間に終わってしまった。一年というのはそういうものではないだろうか。新年に立てた目標を達成できたという人も少ないだろう。一年を振り返り、波があるようにいい面もあれば悪い面もあっただろう。今年もそういう意味で波があるだろう。去年を振り返りどうだっただろうか。年越しの時間、皆さんは何を考えていただろうか。私は一年を振り返り、いろいろな思いがあふれてきて胸が熱くなった。楽しいこともあったが、辛いこともあった一年。去年のことは去年のこととして割り切り、新しい年を迎えたい。今年こそはいいことがあるはずだ。そういう希望を忘れずにこの年を過ごしていきたいと思う。希望を見失わずに歩いていくことのできるような人間になりたい。去年の反省点を踏まえ、今年はよりよい年を迎え、今年の年末にも後悔しないようにしなくていい生き方をしていきたい。皆さんの去年の誓いはどうだっただろうか。

2013/1/3(木)

実家から徳島に帰ってきた。帰りの高速バスは混雑していた。高速道路も渋滞していた。徳島に入ると小雪がちらついていた。やはり西宮に比べ気温が低いからだろう。車窓から見える海の景色もよく、朝日が輝いていた。山はすっかり冬景色で、色も褐色に変わっている。バスを降りるとやはり寒く気温の差を感じた。雪もさらにちらつき、山の方ではすっかり雪が積もっている。久々に帰ってきた徳島だが、すっかり西宮の生活に慣れていたせいか違和感があった。各家はお正月の飾り付けをしており、旅立つ前とすっかり様子が変わっていた。何カ月も徳島を留守にしていた気分だった。家に帰ると、早速仕事がたまっていた。のんびりと過ごせた実家での生活だったが、これからはいつも通りの生活が始まる。以前の生活のリズムに戻るには少々時間がかかりそうだが、いつもの生活に戻っていかねばいけない。気持ちを引き締めて新年を迎え、いつもの生活戻っていこう。

2013/1/4(金)

元日のお昼ごろに西宮神社に初詣に行ってきた。天気も良く、参拝客もたくさん来ていた。神社の参道にはひしめいて出店があった。出店はその地方独特の特色がある。西宮はベビーカステラの店が多かった。有名な店からも出店していた。目新しいものとしては宮崎からのチキン南蛮があった。昔からの遊戯店もある。子どもたちが出店をあれこれと見て楽しんでいる。神社に参拝すると心が洗われるような気がする。西宮神社にきたのも何年振りだろうか。境内もすっかりきれいになっていた。やはり大変な人混みで手を清めるだけでも行列になっていたほどだ。神殿でお賽銭を入れ、今年一年の無事を祈った。願いがかなってほしいのは、みな同じ気持ちだろう。着物の参拝客がほとんどおらず、寂しい気持ちになった。西宮神社は「十日えびす」といって一月十日に参拝する人が多い。甘酒の香りがほんのりと漂っていた。近くには鯉の泳ぐ池。皆さんが良い年を過ごせますように。

2013/1/5(土)

先日、小雨の降る中、神戸へ出掛けた。何年振りになるだろうか。私は神戸の街が好きだ。山と海が近く、街が広がる。山の緑と海の青。異国情緒もあり、夜景も美しい。昼食はジャマイカ料理と決めていたが、あいにく閉まっていてパスタを食べた。そして、神戸で有名な「にしむら珈琲」で大好きなエスプレッソを飲んだ。この店は宮水を使い、とてもおいしいコーヒーが飲める。この店に行くと必ずエスプレッソを飲み、カフェインを補充する。心休まるひとときだ。それからハンズに行き、徳島では手に入りにくい文房具を買い、中をぶらぶらと歩いた。その後、HMVへ行き、ジャズの欲しかったアルバムを探した。残念ながら置いていなかった。しかし、いろいろなアーティストのアルバムがあり、徳島では見ることのできないCDを見ることができて勉強になった。久しぶりに歩いた神戸。一人で過ごせるわずかな時間だったが、とても心に残る一日を過ごすことができた。

2013/1/6(日)

音訳の録音ボランティアには数年参加できなくなったが、嬉しいニュースがあった。もう一か所音訳のボランティアに登録しているところから新規の校正に関する仕事の依頼がきた。以前から参加のメールは来ていたが、内容が難しそうだったので、参加していなかった。今回は文章のみで二冊あり、どちらも三百ページ強といった分量なので少しでも手助けできればと思い、参加してみることにした。PDFファイルとテキスト化された文章を校正するのだが、初めてのことでわからないことが多く、いくつかの質問をメールで送った。返事を分かりやすく書いてきてくれて私にもできそうだ。録音で音訳に参加できないが、音声合成ソフトの音訳でボランティアに参加できるのでとても嬉しかった。校正のマニュアルは印刷してあるので、これから勉強していく。最初から無理せずに、少しずつ勉強しながら参加していく。腕を上げて音声合成ソフトを使う校正にも参加したい。

2013/1/7(月)

実家に帰るのは、やはりいいものである。実家に帰ると、長年飼っていたウサギの姿が見えない。おとし、永眠した。玄関を開けると、いつも会えるのを楽しみにしていたものだ。私が病気になった時に飼い始めたウサギである。年老いてからは庭先でよく遊んでいたものだ。玄関を開けると、もうウサギの姿はなくとても寂しい気持ちになった。実家で子供の頃生活していたのが懐かしい。子供の頃、大きく感じた窓だったが、今はすっかり小さくなった気がする。子供部屋から見る景色も随分と変わったものだ。子供の頃は目の前に農園が広がっていたが、今は住宅が密集している。阪神大震災もあり、街の様子もかなり変わった。街も変わったが、自分自身も成長したのだろう。両親も年老いた。しかし、実家に帰ってきたことを歓迎して、子供の頃と同じように甘えさせてくれる。たまには、実家に帰り、両親の元気な顔を見て、安心させるのもいいだろう。私も元気になれる。

2013/1/8(火)

音訳録音ボランティアには、諸事情で残念ながら、しばらくの間参加できないことになったが、他の形で音訳ボランティアに参加できることになった。音訳する本をPDFファイルに取り込み、OCRソフトでテキスト化する。そして、そのテキスト化された文章をPDFファイルと照らし合わせて校正する仕事だ。もともと校正はこのコラムを書き上げる時にワードで打った文章を印刷し、電子書籍サイトに打ち直す時に校正しているので慣れている。今回は初めて校正の仕事に参加してみることにした。文章のみの学術書だが、初めてなので取りまとめの方に分量を少なめにしてほしいと頼んだ。この校正も文筆活動をしていく上でとても勉強になるだろうし、知識も得ることができる。しかもボランティアに参加できるのでとても有意義なことだろう。最初はどのくらいの量をこなせるか不安であるが、どんどんやってみて、手慣れたものにして、自分の力にしていきたいと思う。

2013/1/9(水)

年末年始の際は高速バスを利用した。普段は車で帰省するのだが、今回、高速バスを利用したのは初めてだった。一番に予約を取ったので一番前の席に乗れたが、乗車客は少なく、運転手の方にどの席に座ってもいいと言われたほどだ。普段、車を運転するので、腰だけのシートベルトとバックミラーが見えず、後方の車の確認ができないのは、とても不安だった。様々な交通事情の中、時刻表通りにバスを運行させる運転手の方のスピード感覚も素晴らしい。どうやったら時刻表通りに運行できるのか不思議なくらいだ。普段、車を運転していると景色を楽しむことができないが、バスだと、ゆっくりと楽しむことができた。途中、トイレ休憩があるかと思ったが三時間ほどの距離なので途中は止まらなかった。しかし、バスにトイレがついているのを知らなくて便利だと思った。車を運転するしんどさもないし、景色も十分に楽しめ、安心して乗れる高速バスの帰省もいいと思った。

2013/1/10(木)

実家の西宮の気候は、やはり徳島の気候と違い、暖かい。実家に帰ってきた日には少し雪がちらつき、とても寒いと話していた。徳島では数日前に吹雪が降っていた。そのため、かなり冷え込んだが、この程度の雪のちらつきだとあまり寒いと感じない。朝晩の冷え込みも徳島と比べて暖かい。霜も降りず徳島の厳しい寒さとは違う。一番違いを感じたのは、星が見えないことだった。満月の晃々と輝いている夜空を見上げた晩があったが、見える星の数が随分と違った。都会と田舎ではやはり見える星の数が違う。少し寂しく感じてしまった。都会は遊びなどで楽しいことはあるが、自然の面では断然田舎がいい。田舎での四季の移ろい、自然の厳しさを感じた。西宮は阪神大震災後、田畑が減り住宅が増えて、人口も増えた。子供の頃からの見慣れた風景がどんどん変わっていく。寂しい一方、新しい商業施設が多くなり、都会なりの楽しみも増えた。気分転換にはいい帰省となった。

2013/1/11(金)

ボランティアでしている校正の仕事をある程度実家で時間があり、半分ほど済ませてきた。徳島に帰ってきてからすぐに印刷できるところまではできていた。そして、家に帰り印刷して、翌日から校正に取り掛かった。実家でPDFファイルとテキストファイルを画面上で見比べ、ある程度校正したつもりでいた。しかし、実際に印刷して見比べてみると、細かい漢字などが多数、誤変換されていた。一つ一つ読み比べていき、赤字でしるしをつけていく。地味な作業だが、漢字の勉強になるのと間違い探しをしているようでなかなか楽しい。私の性格には合っているのではないのだろうか。家のこともあるので、今は少ししか手伝えないが、将来的にはもっと協力したいと思う。二次校正といい、音声自動読み上げソフトを使い校正するところまでやってみたい。集中力が必要な作業なので、休憩時間をまめに取りながら作業していきたい。実際にしてみても楽しい仕事だと感じた。

2013/1/12(土)

先日、SKYPEを使い、海外の友人と話をした。今はインターネットで海外の人と簡単にビデオ通話ができる時代になった。相手はインターネット環境があまり良くなかったので、スムーズには話せなかったが、お互いの近況や相手の家の中を見せてもらったりして、初めて海外の生活を生で見ることができた。今は本当にインターネットが発達し、素晴らしい時代になったものだ。世界がとても身近に感じられる。私はまだ海外旅行をしたことがないが、今回のことで海外をより身近に感じることができた。私もだんだんとパソコンが使いこなせるようになってきた。インターネットを使うことによっていろいろな問題にぶつかり、その都度解決して自分の力にしていく。そして、よりパソコンを使いこなせていけるようになる。人生に関してもそうではないだろうか。諸問題にぶつかり、その都度解決し、自分の力にしていく。そういう力をもっと身につけていきたいものである。

2013/1/13(日)

初めてした音声合成ソフト用の本の校正が終わった。帰省した際に下準備をしていたので、思ったより早く仕上げることができた。一次校正の仕方はこうだ。まず、体裁を整える作業をする。PDFファイルの文章は改行がついているので、テキストデータの方でそれはずし、一段落をひとつのかたまりにする。そして、ページ番号を入れ見出しを整える。それから、印刷をして原本のPDFとテキストデータを見比べながら校正を始める。訂正箇所を赤字で書き込み、テキストデータに入力していく。訂正漏れがないか、校正紙のしるしにチェックする。最後校正紙にひとつお目を通す（素読み）のだが、何箇所も訂正漏れがあった。もっとよく見て注意しながら校正しなければいけないと思った。校正し終わったデータを取りまとめの方に送った。やり遂げた充実感でいっぱいである。かなり集中力のいる作業なので、適度に休憩を入れなければならない。続けていけそう。

2013/1/14(月)

最後の音訳ボランティアの講習会では実際に盲導犬を利用されている方が来られ、一時間半ほど話されていった。盲導犬は全国で千頭弱いて、老齢化する前の元気な状態である十歳前後で引退するという。訓練される十頭のうち、盲導犬になれるのは三、四頭ぐらいらしい。盲導犬を使いこなすには体力が必要だそうだ。利用者の行動範囲や行動力によって白杖を使うか、盲導犬を使うか決まってくるという。法律で公共の場でも盲導犬などの同伴が認められるようになったが、それなりに気を使うらしい。犬の毛を落とさないようにまめにブラッシングなどしている。また、読みたい本については、インターネットでダウンロードできるサイトがあるので、新刊でもそこですぐに手に入るそうだ。家事などをしながら聴いているという。最後の講習会を終え、視覚障害者に対する理解がかなり深くなった。ますますボランティアに力を入れられる。この三ヶ月講習を受けて意義があった。

2013/1/15(火)

約半年ぶりに美容院に行ってきた。私もそうだが、女性にとって美容院はリラックスできる場所だ。今回も徳島に来てから通い続けている美容院に行ってきた。髪の毛は伸ばしているのに、今回はあまりカットをしなかった。毛先を軽くしていたので、ボリュームが出るように毛先をまっすぐに揃えてもらった。カットのみだったので三十分ほどで済んだが、のんびりと気分転換をすることができた。美容院に行くときは、鏡と向き合うので身なりに気を付ける。一種のサロンであるから女性は皆、服装や化粧に気を配るのではないだろうか。そして、新しい髪型になって美容院を出るときはとてもすがすがしい。新しい自分に出会えた気持ちになるだろう。思い通りの髪型にならず、落ち込むときもある。しかし、髪は女の命であるから、めげずに新しい自分と向き合っていくだろう。私が次回、美容院に行くのはまた、半年先になりそうだ。どのくらい髪が伸びているかが楽しみである。

2013/1/16(水)

朝五時に起きるようになって、朝の準備に心の余裕も出てきた。しかし、寒いのでなかなか布団から抜け出すことができない。まだかなり寒い。早朝、小雨の降る中、家の外に出るとゴミ箱も凍っていた。その日、温泉に行ってきた。早朝の雨はすっかり雪に変わり、気温は0℃だったのでぼた雪であった。道路は雪まじりのドロドロとした道になっていた。祝日だったので、入浴客も多かった。露天風呂に入ると、雪が舞っていたので、お湯がとても温かく感じる事ができた。外の景色はすっかり雪化粧だ。山の木々に積もる雪は、まるでクリスマスツリーのような。のんびりとした時間が過ぎる。中に戻って、色付き風呂に入る。今日は青いアロエ風呂だった。ジャグジー風呂も楽しんだ。休憩室も入浴客でいっぱいだった。充分と体を温めることができた。気分転換に温泉は本当にいいものだ。近くにあるので気軽に行くことができ便利だ。他の温泉客も満足そうに帰って行った。

2013/1/17(木)

平成七年一月十七日午前五時四十六分、それは起こった。未だに心の傷を負い、当時のニュースなどを見ることができない。私は西宮で被災した。地震が起こる十五分程前に一度目が覚めた。再び眠りについた頃激しい揺れに襲われた。とても長く感じた。家具はすべて倒れ、家中散乱した。すぐに隣人の老夫婦の安否を確認すると、外に出た。恐ろしいほど、静かだった。停電していたので、カーナビで情報を得るとまだ震度七という発表だった。家に戻り、一旦部屋の整理をしてからすぐ近くの実家に向かった。途中、事態を把握できていないラジオを聴きながら、崩壊した家屋、火事を起こしている家などを見て震えた。幸い実家は無事だった。数日後から全国からの助けがやってきた。とても心強かった。今でも感謝の気持ちを忘れない。人が助け合う気持ちを大切にしたい。これから迎える東北大震災の人々の気持ちが痛いほどよくわかる。震災は語り継がなければならない。

2013/1/18(金)

早朝、外に出るとまだ満天の星が輝いていた。張りつめた冷たい空気は頬をそっとなでる。吐く息も白い。これからもっと寒くなるだろう。天気予報の予想気温では氷点下となっている。どおりで寒いはずだ。朝の準備をしていると、徐々に空が白みはじめる。天気の良い日の早朝は朝焼けが真っ赤に燃えて美しい。東の空が赤く染まり、徐々に外が明るくなっていく。一日の始まりだ。冬だとまだこの時間は暗いが、夏だともうすっかり明るくなっている。季節の違いを感じるときだ。冬から春へ変わっていき、だんだんと空が明るくなる時間が早くなってくる。私は冬と夏では冬が好きだ。寒いがピンと張りつめた冷たい空気が、心に緊張感を与えてくれる。そして、寒い時に飲む温かい飲み物が好きだ。これから春を迎え、暑さの苦手な夏がやってくる。季節が移り変わるのも早く感じられるようになった。今、大好きな冬の季節を楽しみながら、名残惜しく暖かい春を迎えていこう。

2013/1/19(土)

校正をされていて作業工程の中で「ブックスキャン」という言葉が出てきた。恐らく本をPDF化にすることだろうと思って、念のためインターネットで調べてみた。すると、「ブックスキャン」という会社の名前が出てきた。一冊百円で本をPDF化してくれるという。とても安い値段だ。蔵書の整理にもなるし、電子書籍化してくれるのでいいサービスだと思い、利用しようと思った。会員登録しようと思い、同意書をよく読んでみた。すると、どの本でもPDF化してくれるわけではなく、著作権の切れたもの、著作権フリーのものしかPDF化してくれないという。よく考えれば、当たり前なことだが、せっかく蔵書を整理できるチャンスだと思った。著作権は作者にとって大切なものだが、こういったサービスが拡大していくのもいいと思った。自分の好きな本をPDF化できれば、日本の電子書籍化で問題になっている出版社業界の諸事情も解決されるのではないだろうか。

2013/1/20(日)

昨夜の「ジャズ・トゥナイト」はキース・ジャレット・トリオの特集だった。私の大好きなアーティストのトリオだ。番組内容はトリオの三十周年を記念してのものだった。番組の前半に特集が組まれていた。ライブの曲がかかり、キース・ジャレット特有の歌声が入っていて、とてもいい雰囲気を出していた。彼は一時、慢性疲労性にかかっていたそうだが、見事復活し、素晴らしいライブを聴かせてくれた。大好きなトリオの特集だったので番組を録音しようと思い、フリーソフトをダウンロードしてみた。しかし、今回は残念ながら使いこなせるソフトではなかった。番組予約はしていたのだが、調べてみると録音されていないことがわかった。しかし、もともと曲だけを録音したかったので、どっちみち無理だったのかもしれない。私の当初の目的は達成されず、あきらめるしかなかった。使いこなせると思うようになっていたパソコンだが、まだまだ勉強不足だと感じた。

2013/1/21(月)

以前していた「断捨離」でかなりの毛糸を処分してしまったが、手編みも趣味の一つである。棒針編みは高校生の頃からしており、将来はニットデザイナーになりたいと思っていた時期があり、専門的な手編み教室に通っていたことがある。短大の卒業制作でも生糸から染めて、ニットの作品を作った。一方、かぎ針編みには苦手意識があり、なかなか覚えられない。簡単なモチーフなら編めるが、ショールまでとなると難しい。棒針編みなら一通り編むことができ、ワンピースを作ったこともある。今は季節が寒いので棒針編みで作ったショールが役に立っている。自分でデザインしたものでショールにもひざ掛けにも使える。知人にも同じものをプレゼントした。やはり、手作りはいいものである。作っても利用する機会がなかなか少ないので、あまり編み物を作らないようにしているが、作る楽しさは忘れることができない。いつか、ベッドカバーのような大作にも挑戦したいと思っている。

2013/1/22(火)

最近はインターネットで、とても便利な機能がついている。自動翻訳機である。日本語を外国語に、外国語を日本語に訳すことが簡単にできる。外国の友人に訪ねたら、翻訳は正確ではないそうだ。確かに外国語から日本語に訳された文を読んでも正確ではない。しかし、便利な機能である。OCRソフトでも同じだ。ある程度は読み取りができるが、最終的には人の手による校正が必要だ。音声読み上げソフトでも同じようなことがいえる。コンピューターがいくら発達しても、人間には及ばないものがある。最終的には人間の手にはかからなければならないものがある。しかし、これからもっとコンピューターも発達し、機能も向上し便利なものになっていくだろう。数年後、十年後のコンピューターの世界はどうなっているだろうか。想像もつかないところであるが、楽しみなところでもある。しかし、最終的には人間の手にかからなければいけないところが多々あるだろう。

人それぞれによって、体感温度は違ってくる。老若男女と変わってくる。おじいちゃん、おばあちゃんは孫によく厚着をさせる。これは歳を取ってくると寒さを感じるのが強くなってくるからだ。そうやって、子どもは子どもで寒くないのに、厚着をさせられて寒さに弱い子供になってしまう。保育園などでは子どもたちを裸足にしたり、寒風摩擦をさせるところもある。寒さに強い子どもにするためだ。昔と違い、今の時代、エアコンがあるせいで、子どもの頃からその生活に慣れてしまう。そんな生活では、体感温度がくるってしまう子どもになってしまうのではないだろうか。そうならないためににも、子どもの頃からエアコンに頼らず、自然な温度変化に慣れさせて、どうしても必要な時だけ、エアコンを使う育て方にした方がいいのではないだろうか。子どもの頃からエアコンに慣れてくると、暑さ、寒さに弱い大人になってしまう。エアコンは上手に使っていききたいものである。

2013/1/24(木)

立春まであと八日になる。暦の上ではもう春になってしまう。まだ一月なのに、あっという間だ。寒い日はまだ続くが、車のフロントガラスの凍っている日が少なくなっているように感じる。去年はもっと凍っていたような気がする。もうすぐ二月が近づいてくる。西宮の実家に植えている蠟梅はお正月が見ごろだ。私の家に植えている蠟梅はまだ花が少ない。温度の違いからきているのだろうか。私はキンモクセイ、蠟梅の花の香りがとても好きだ。両方ともとても香りが強い花だが、甘い香りが心を和ませてくれる。季節の移り変わりをもっとも感じるのは、新聞配達の方ではないだろうか。早朝は特に違いを感じるだろう。夏はさわやかな涼しさと冬は厳しい寒さを感じるのではないだろうか。毎朝、仕事の時間に空の違いも感じるだろう。春に向かって、厳しい寒さも減ったり、空が明るくなり始めて、仕事も楽になっていくだろう。今朝も新聞配達のバイクの音が響いている。

2013/1/25(金)

最近は忙しくて出来ていないが、私の中学生時代からの趣味でしていることで「和訳」がある。そもそも、英語に興味を持ったきっかけは中学生の頃に聴き始めた洋楽からだ。アーティストが何を歌っているのか知りたかった。辞書を片手に歌詞カードを和訳していき、何を歌っているか知ることに楽しみを感じた。そのおかげもあり、英語にはとても慣れ親しんでいる。また、映画好きとあって当時好きだった「DUNE」という作品の洋書を買って、かなり分厚い本だったが、和訳を試みた。映画の内容を知っていたので、和訳をするには理解しやすい内容だった。しかし、学業が忙しくなり途中でやめてしまった。今、文筆活動を始めて再び、この本を和訳することに挑戦している。和訳するということは文筆活動をする上でとても勉強になっている。英語をそのまま訳すのではなく、読みやすく言葉の整理をしながら書いていく。言葉のパズルをしているようで楽しいものである。

2013/1/26(土)

私には関西人の血が流れているせい、節約に関しては、自分の中でかなりの重要度を占めている。先日も校正のためにブックスタンドが必要だと思い購入を考えた。ネットでブックスタンドの構造を見てみると、百均で売っているバインダーの構造によく似ていて、これはわざわざ買わなくてもうまく作ることができるのではないかと思った。音訳の校正の際に使うので、校正前のプリントをバインダーに挟み物に立て掛ける。それだけで済むことだった。いろいろと百均の物を使ってアイデアを駆使し、利用するとかなりの節約になるのではないだろうか。最近、食料品も百均で売るのが増えてきた。少量で済むものなら、百均を利用した方が安く済むことがある。百均といっても侮れないものが多い。体のケア関係に関するものも品質の良いものが多い。うまく百均を利用することで節約することができる。利用方法を考えてこれからも節約に努めていきたいものである。

2013/1/27(日)

今年初めて図書館に行ってきた時に、久しぶりに自分の本を借りてきた。今まで「KINDLE」で十分満足していたし、本を読む時間があまりなかったせいもある。去年、図書館の整理日があったので、目新しい本があり、二冊借りてきた。両方とも文章について書かれた本だが、特に目新しいことは書かれていなかったなので、すぐに読み終わった。図書館を出て、うだつの街並みを歩くと、コスプレの人たちがいなかった。ちょうど、假屋崎省吾さんの展示会が開かれていたからだろう。外からでも見ることのできる作品が飾られていた。彼独特の作品が並べられていた。中でも印象的だったのが、青く塗られた木とランの花が組み合わせられた作品だった。とても新鮮な青色をしていて目を引く。青色と黄色いランの花が合っていて、思わず写真に撮ってしまった。庭に行っても同じ青の木で作られた大きな作品が飾られていた。図書館に行ったらまた目にするのができてよかった。

2013/1/28(月)

昨夜から冷え込みが厳しく外を見ると、雪が降っていて積もり始めていた。しばらくすると雪がやんで、久しぶりの満月を見ることができた。早朝、外が白く輝いていた。今冬初めて、雪が積もっていた。私の車はノーマルタイヤなので、朝出かけることができなかったが、昼前にはもう雪が解けて、出掛けることができた。束の間の雪国気分を味わえた。雪国の方からすると、たいしたことのない話だ。年に数回積もるか積もらない徳島では、雪が積もるということは一種のイベントだ。一日中とても寒くて、一人の時には暖房はかけないが、洗濯物を乾かしたくて暖房をかけた。気化熱であまり暖かくならなかったが、洗濯物は十分に乾いた。雪国の方の苦勞が少しわかったような気がした。今朝は雪が積もったが時期が遅く、回数も少ない気がする。今年は特に暖冬といわれていないが、地球温暖化が進んできているのだろう。子どもたちは久しぶりに積もった雪に喜んでいただろう。

2013/1/29(火)

再び本の断捨離をした。今度は、手芸関係、料理関係の本だ。かなりの冊数になった。今回は前回と違って思い切った。最初はいらぬ本をすべて捨てようと思った。しかし、よく考えるともったいないと思い、近くの買い取り専門店で持っていった。中には売り物にはならない本もあったが、二百円ほどにはなった。全部捨ててしまえばゴミになってしまいうし、よかったと思う。他の人に使ってもらえるという利点もある。整理していた本の中には残しておきたい本もあったし、すっかり存在の忘れられていた本もあった。かなりの雑誌代にお金をかけていたという証拠だ。中でも先日書いた重曹に関する本はすっかり忘れていたが、持っていてよかった。読み直してみるといろいろと新しい発見があった。この雑誌のようにいいことを発見するのもいいことだ。このようにして、断捨離をすることはものを減らすという利点と、いかにものにお金をかけていたかという反省点がある。

音訳の本の依頼で、「ブックスキャン」という会社を知ってから、いろいろと考えてみた。何とか蔵書を減らしてみることができないか。一冊百円という安さだ。以前、蔵書をPDF化する方法を考えて試してみたが、折り目が入ってしまってあきらめていた。プリンターでパソコンに取り込める方法は知っていた。しかし、「ブックスキャン」の方法を見て、きれいにPDF化することが可能になった。本を裁断して取り込む方法だ。それを一冊の本にまとめる方法がわからなかった。インターネットで調べてみると、フリーソフトがあった。しかし、プリンターにそういう機能があるのではないかとよく考えてみたら、そういう機能がついていた。しかも、OCRのフリーソフトもダウンロードしているので、OCRの機能も利用することができる。このプリンター自体、五千円弱のものだったが、これだけの機能がついているのには驚いた。さらに蔵書をPDF化して減らしていきたい。

2013/1/31(木)

今日で一月もいよいよ終わりだ。今月は忙しくて、あっという間に終わってしまった。実家の帰省から始まり、音訳ボランティアの一次校正、蔵書の整理、PDF化など、することがたくさんあった。精神的にもまいってしまっただが、何とか乗り切ることができた。寒さも本格化し、今冬初めての雪が積もった日もあった。いろいろと新しくチャレンジできた月でもあったので、内容としては充実していたと思う。そして今月から始まった音訳録音図書講座の応用コースに参加できなかったのは残念だった。毎週、火曜日になると、みんなが今頃勉強しているかと思うと悔しかった。しかし、音訳の校正という形でボランティアに携われたのはよかったと思う。次回も機会があればぜひ、参加したいと思う。一月の目標を結局何も立てずに終わってしまったので、二月は何か目標を立てたいものだ。来月も何があるかわからないが、いろいろと心づもりをして二月を迎えたいものである。